

スーパーマッフル・デジタル24 新機能及び強化編

CONTENTS	ページ
1 : 「カスタム情報」欄に自動スクロール機能を強化 選択アイコン操作ガイドのON、OFF	2
2 : 取込データの編集・検索機能の強化	3
3 : カスタム情報の縮尺表示範囲設定	6
4 : 車両情報（規制情報）の設定	7

名称の任意設定イメージ



****ご承諾ください****
 画像イメージは開発中のものも含まます

■さらに詳しく調べるには■
 クイックアクセスバーにある 設定 サポート マニュアル ガイドマップ を参照して下さい。
 本書で紹介しきれない細かい使い方・操作方法などが掲載されています。

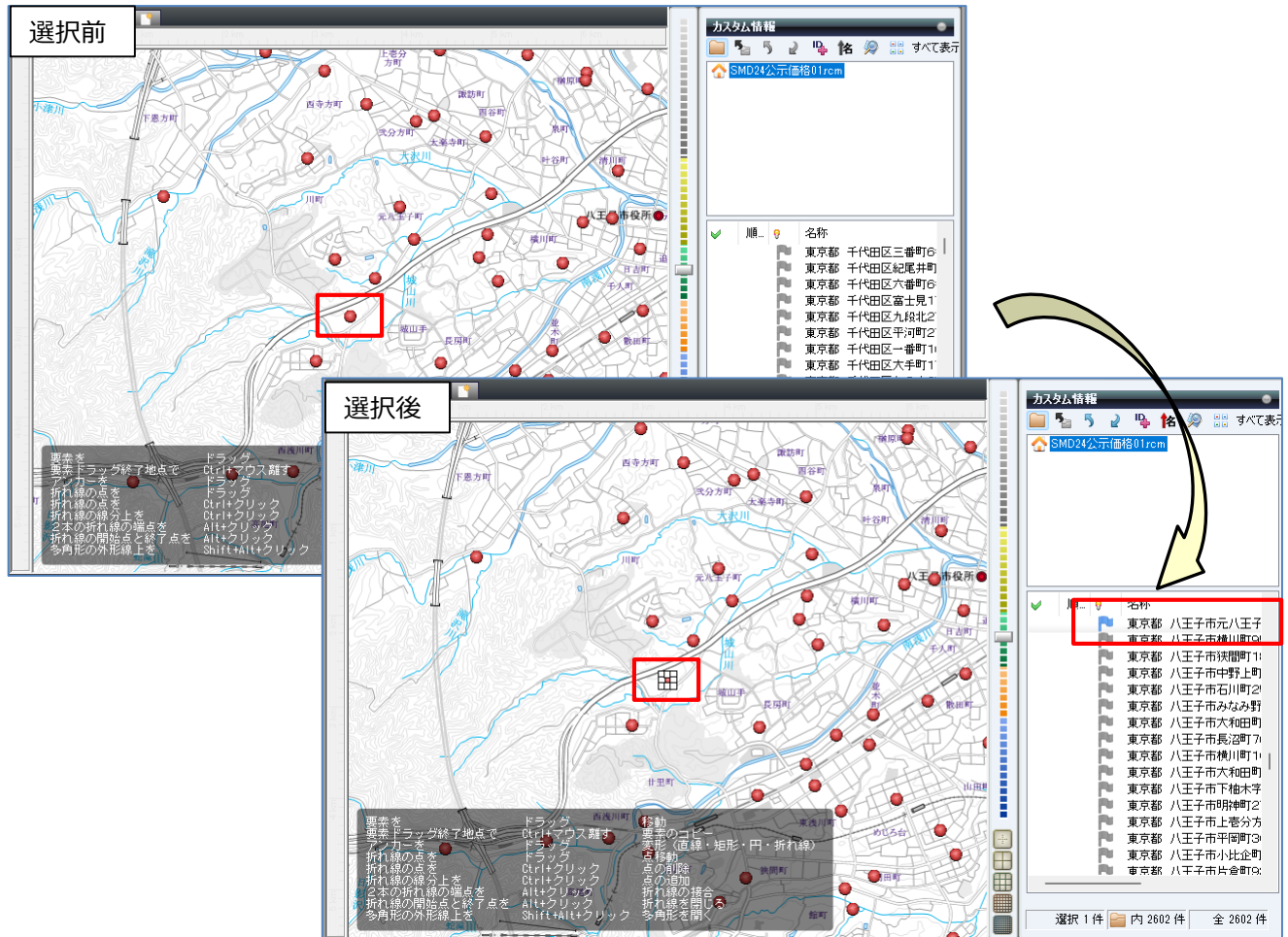
■ 1 : 「カスタム情報」欄に自動スクロール機能を強化

1-1 「地図上」でカスタム情報を



選択

アイコンで選択すると、カスタム情報欄の該当名称が自動スクロールし、上部に表示されます。



1-2 「地図上」の「操作ガイド」を非表示にしたい場合は、「設定」で非表示にしてください。

画面右上に表示されている **設定** をクリックし、設定画面の「地図その他」タブをクリックしてください。

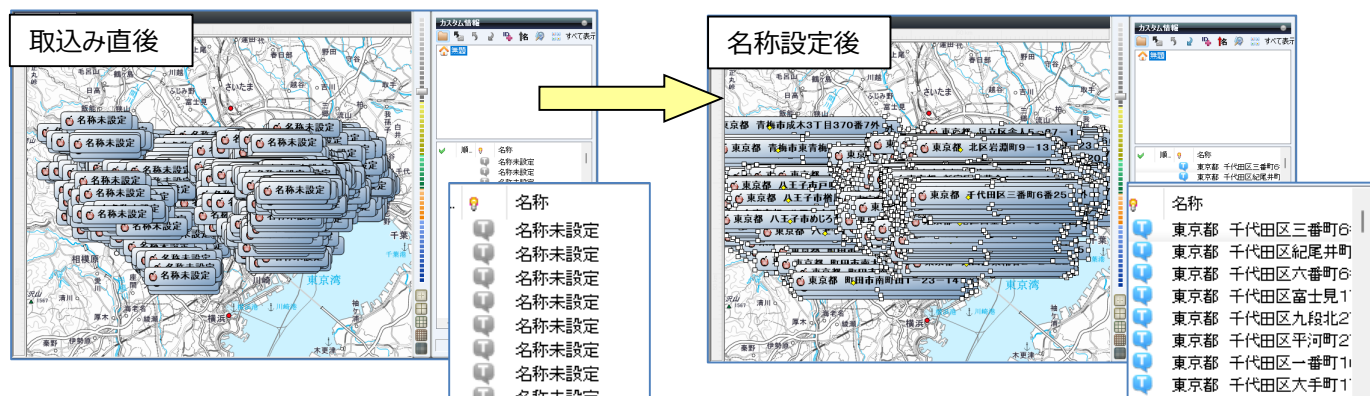


■ 2 : 取込データの編集・検索機能の強化

2-1 「オープンデータ」サイトなどから、取り込んだデータの編集や検索でデータの整理をします。

※公開されている「オープンデータ」などの「KML・GeoJson」形式の場合、「一般の地図」で表現するラベル項目の設定が未定になっていることが多く、「名称未設定」となります。

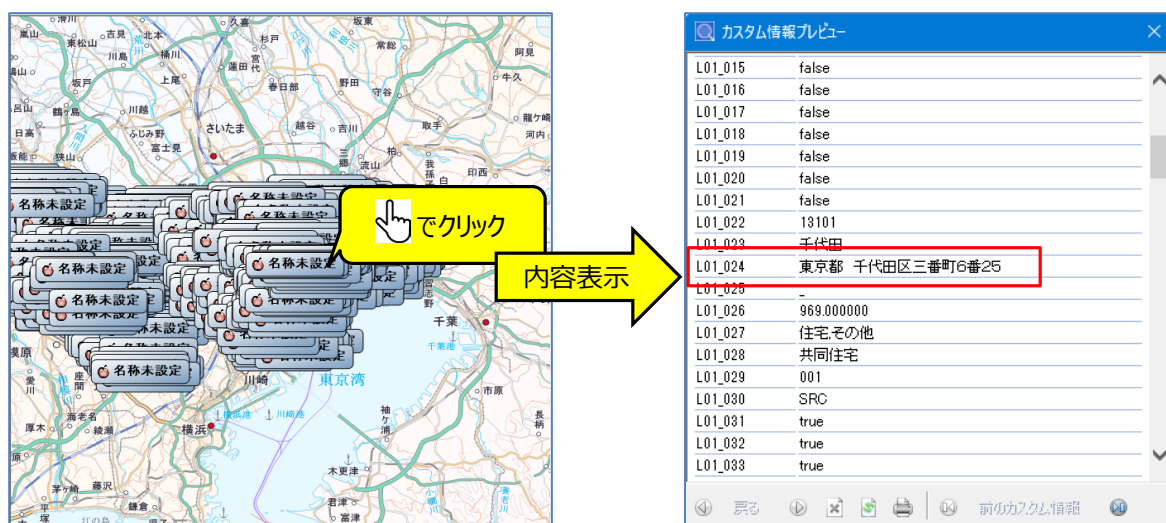
【ご注意】他のソフトで該当データを使用していると「取込」ができません。



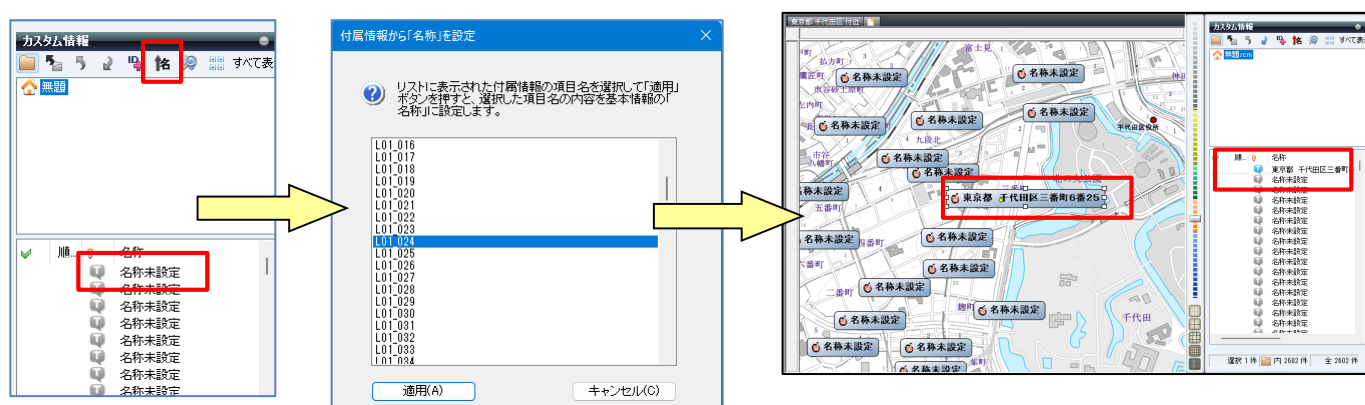
2-2 アイコンで任意のデータをクリックすると、カスタム情報プレビューが開き「内容」が表示されます

「名称」にする「項目」を確認し、閉じます。

例：L01_024項目に記載されている「住所」を「名称」に設定します。

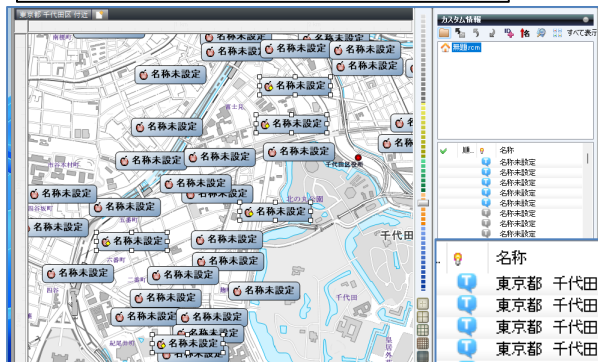


2-3 アイコンで「名称未設定」になっているデータをクリックし、「カスタム情報」欄の上の「格」をクリックし、名称にしたい項目を選択し、「適応」をクリックすると項目内容に記載されている文言が「名称」欄に表示されます。

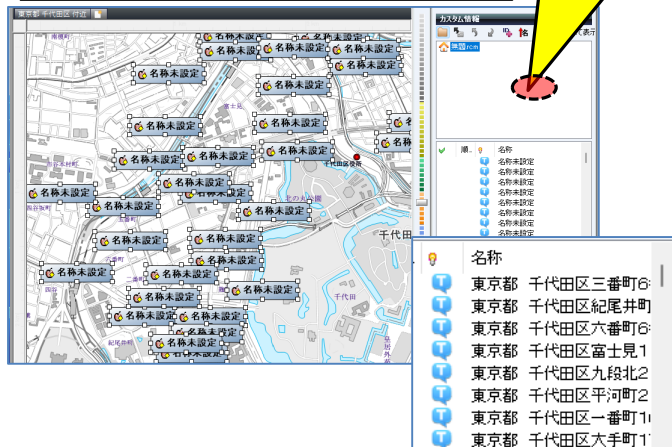


※ 複数のデータ、すべてのデータを一括で「名称設定」する場合

[Ctrl+該当データ]で複数選択



[Ctrl+A]ですべて選択

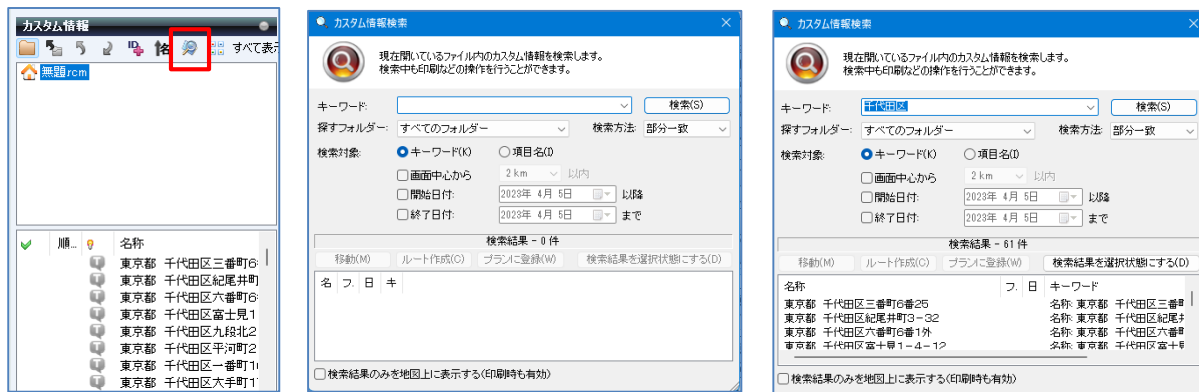


「選択」を解除するには、この空間をクリックすると、速やかにできます。

2-4 「取込んだデータ」を目的に応じたデータを検索する。また、検索したデータをフォルダー分けをする。

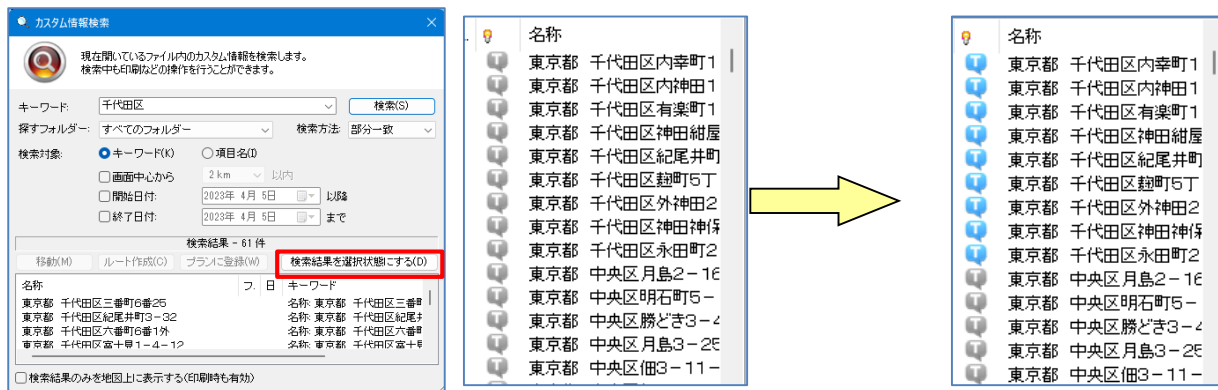
アイコンをクリックし、「カスタム情報検索」を開き、[キーワード]に「名称」を入力し、[検索]をクリックします。

※例：設定は「すべてのフォルダー、部分一致、キーワード」で行います。



2-5 入力された「例：千代田区」で検索されます。

「検索結果を選択状態にする」をクリックすると、該当データが選択されます。

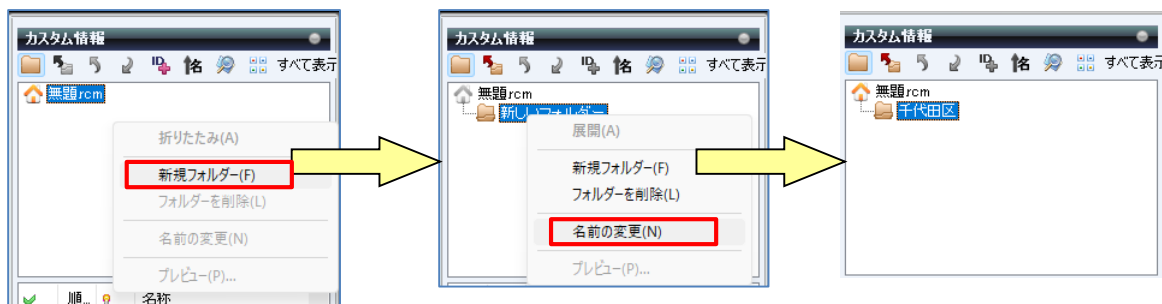


※「カスタム情報検索」画面下の「検索結果のみを地図上に表示する」に☑を入れると、該当のデータのみを地図表示します。

2-6 「カスタム情報検索」を活用して、データのフォルダー分けをします。

カスタム情報欄で右クリックし、新規フォルダーをクリック。

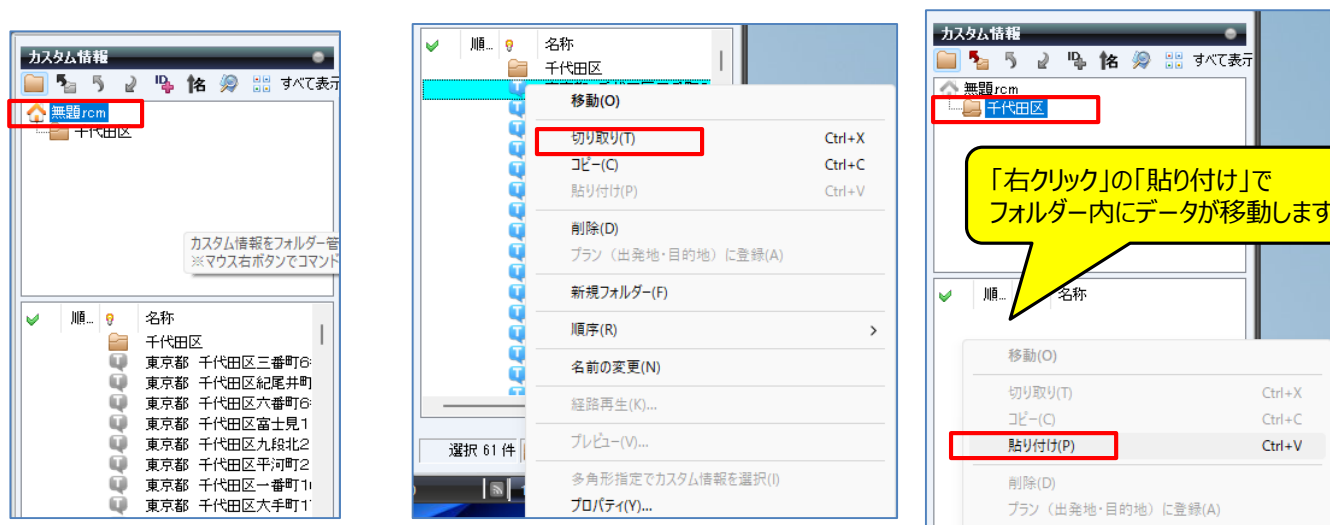
「新規フォルダー」を右クリックして、フォルダー名（例：千代田区）を入力します。



2-7 フォルダー名入力後 ホームをクリックし情報を表示します。

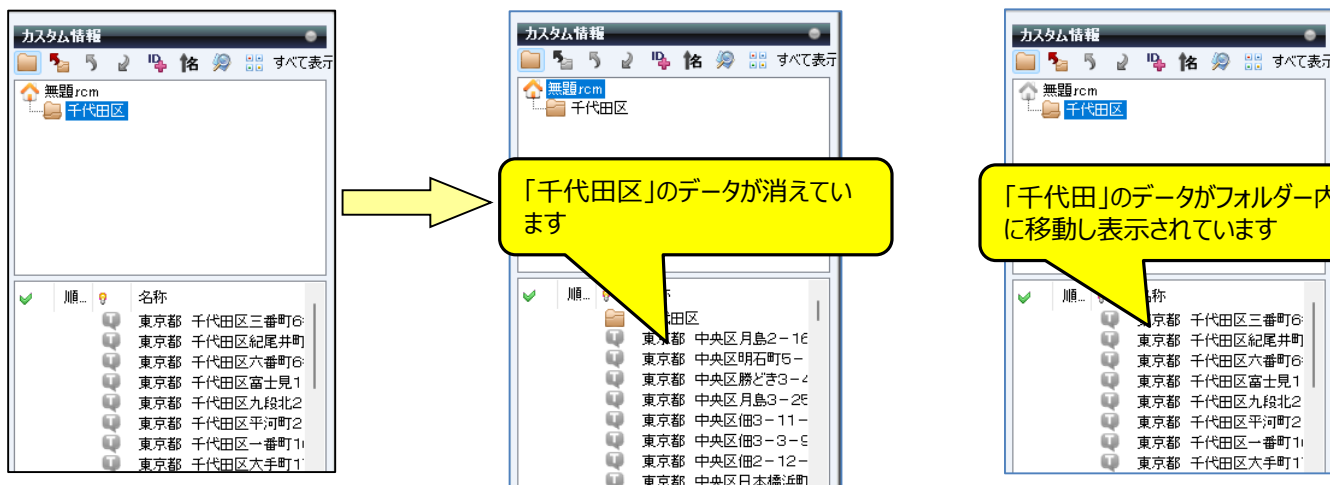
「2-4」で行った検索で「検索結果を選択状態」にし、該当データ上で右クリックして、「切り取り」を選択します。


「千代田区」フォルダーをクリックして貼り付けます



2-8 貼り付け後、確認するため ホームをクリックし情報を表示します。

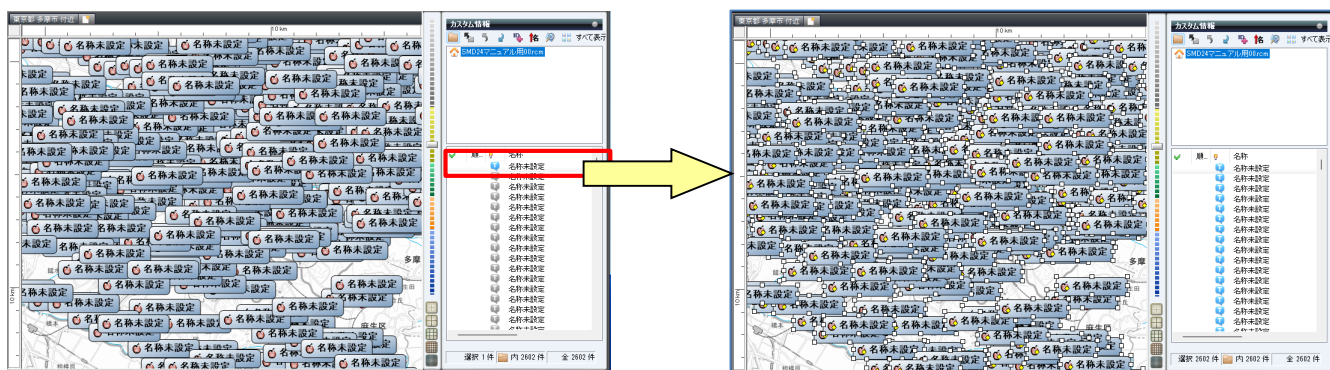
次に「千代田区」フォルダーをクリックします。



【 参考】カスタム情報の検索を活用することにより、データのフォルダー分けが行いやすくなります。

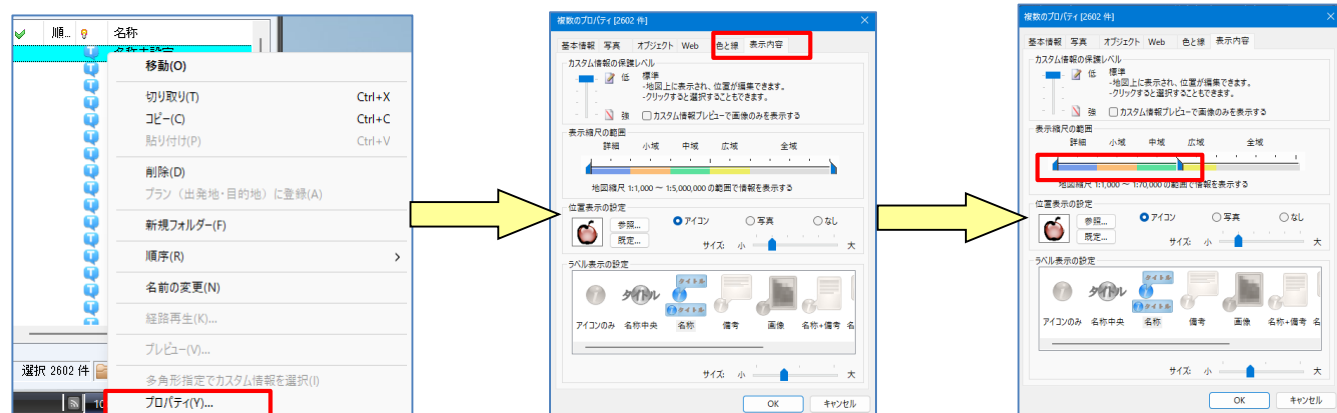
■3： カスタム情報の縮尺表示範囲設定

3-1 表示したデータで地図が見えなくなり、作業や判断を行いやすくするため、データの表示縮尺範囲を設定します。
「名称」をクリックして、**Ctrl+A**で全選択してください。



3-2 選択された「名称」の上で右クリックをし、[プロパティ]を開きます。

次に、プロパティの[表示内容]タブをクリックし、表示したい範囲の縮尺を**スライド**して設定します。

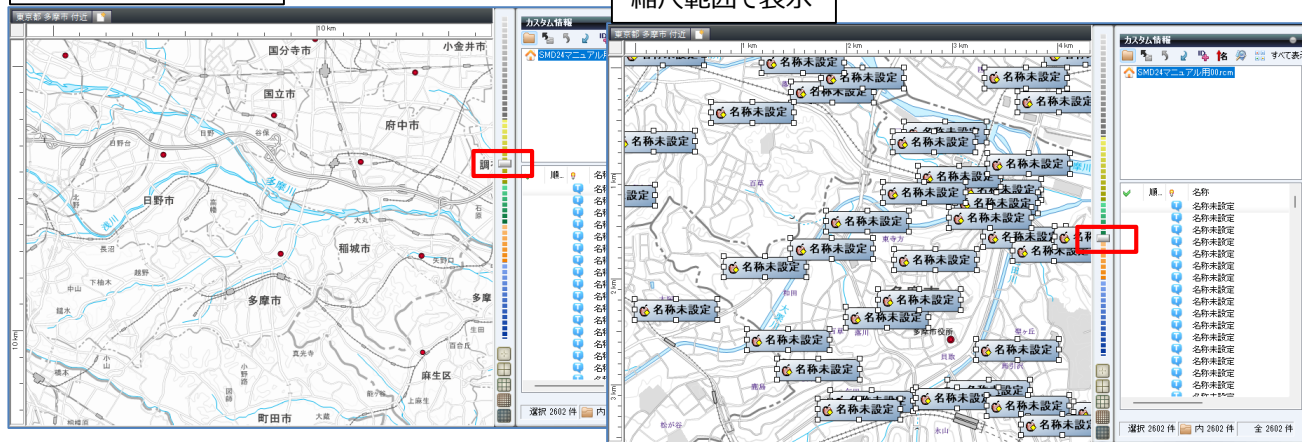


※各種のタブから[表示内容][色と線]などを選択し、表示方法を試してください。
イメージがつかめるので、実際に表示方法を変更されることをおすすめします。

3-3 設定後、縮尺範囲を超えている場合は、表示がされません。縮尺範囲にすると表示されます。

設定後表示が消える

縮尺範囲で表示



※選択状態を解除するには「カスタム情報」欄の空間をクリックしてください。

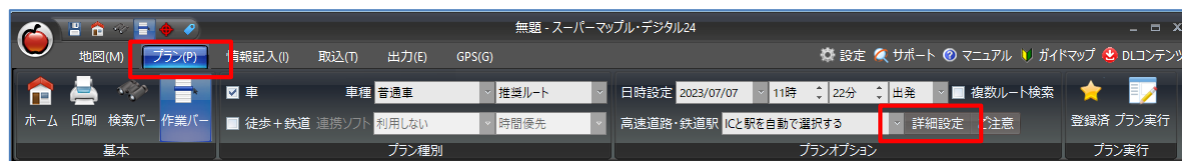
【🍏参考】カスタム情報を詳細に編集する場合は、画面右上の **ガイドマップ** から【ビジネス活用】の「簡易マニュアル」のP9を参照してください。

■ 4 : 車両情報（規制情報）の設定

「車高」「車幅」「車重」の通行規制に対応。

4-1 通行車両に伴う、通行規制に対応した「プラン」作成の設定を行います

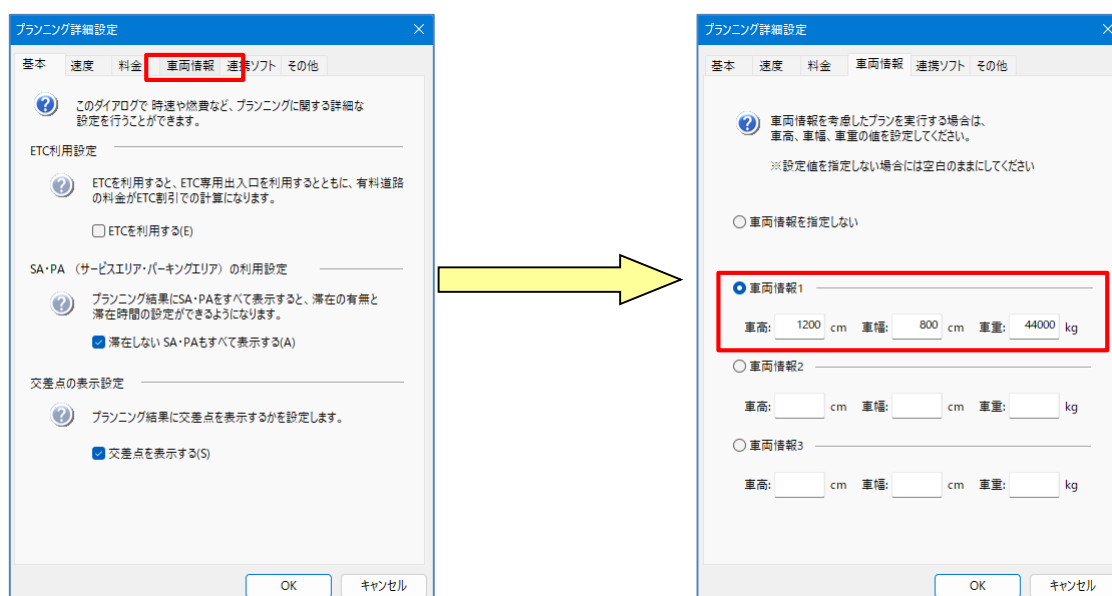
「プラン」タブをクリックし、右側にある「詳細設定」をクリックします。



4-2 「プランニング詳細設定」画面が開きますので、「車両情報」タブをクリックします。

「車両情報 1」に「車高、車幅、重量」を入力して、[OK]をクリックしてください。

車両情報は3種まで登録できます。



【設定可能範囲】

- ・車高：最低 1cm ～ 最大 1200cm (= 12m)
- ・車幅：最低 1cm ～ 最大 800cm (= 8m)
- ・車重：最低 1kg ～ 最大 44000kg (= 44t)

【選択された規制条件】

車種で「車（軽自動～特大車）」が選ばれていた場合のみ適用され、自転車・原付・二輪では適用されません。

※ 特大車の定義

車高：上限 3.8m (4.1m)

車幅：上限 2.5m

車重：上限 20.0t（高速自動車国道および重さ指定道路は 25.0t）